

皆さんの質問にお答えします～小学部編～

4月に全校向けで実施した進路希望調査にご回答いただき、ありがとうございました。みなさまから進路希望のほか、質問や心配・困っていることについても多数記入していただきました。

進路担当として、高等部卒業後の生活と関連させながら小学部段階での考え方などを述べさせていただきます。今回は、小学部保護者の皆様からの質問や心配事についてです。個別的な回答にはなっておりませんがご了承ください。

Q. 言葉での表現が(人に伝えることが)うまくできないので、自立できるか(自分で仕事できて生活ができるところまで)イメージがわからないので不安です。

⇒ 高等部卒業時点で言葉が話せないと、自立生活や就職ができないということは全くありません。年々、福祉サービスは充実し、自宅、グループホーム等での生活をサポートしてくれます。会社でも障がい者の受け入れ体制は整ってきています(合理的配慮、特例子会社など)。

毎年9月に、本校 PTA の研修として「保護者対象の施設職場見学」を開催しています。実際に卒業生の進路先や実習先、そして、校内実習の様子を見学します。こういった見学に参加していただけると少しずつですが卒業後のイメージができてくると思います。

📌ポイント! まずはPTA主催の職場施設見学に参加してみよう!



Q. 言葉が言えないので心配です。将来、いろんな場面でコミュニケーションを上手くとれるか心配です。

⇒ 発声・発語のトレーニング以外では、スマホやタブレット等のICT機器を上手く使って他者とのコミュニケーションを代行(補って)することが考えられます。タブレットのボタンをタップすると話してくれるアプリを使ってコミュニケーションをとるのです。昔は「そんなアプリ使っていると発語が遅れる!」という誤解がありました。実は全く逆です。本人はタブレットのボタンをタップするだけですが、互いに伝え合う経験を積むことができます。コミュニケーション経験の積み重ねにより意欲が高まり、発声・発語も促進されることは、ICT関係の学会や特別支援学校から多数の事例が報告されています。私自身も小学部に所属しているときに実践済みです。発声・発語ゼロの子が話せるようになりました。

📌ポイント! ICT機器(タブレットやスマホ等)でも何でもどんどん使って、周りの人に「自分の言いたいことが伝わる経験を積み重ねるようにしましょう! アプリはたくさんあります!」

Q. 企業への就職、成人してから自立ができるのか、就職先がたくさんあるのか気になります。

⇒ 障がい者雇用の義務化が進み、企業の雇用率も年々上昇しています。津軽地域では、正社員の募集はまだまだ少ないですが、パート(4～6時間)の募集はいくつもあります(事務系～スーパー、清掃、食品などなど)。東京の企業からパソコンを使った仕事(リモートワーク)の募集もあります。

あとは応募条件に合うかどうか…ということになります。また、稼ぎたい!という気持ちがあるのかどうか大きなポイントとなります。小学部段階から小遣いを渡し、自分で好きなように使い、お金がないと欲しいものが買えない(あると買える、貯めないと買えない等)経験が必要です。

📌ポイント! 小遣いを自分でつかえるように! 自分一人でお金を使うことを経験させましょう!



Q. 子どもがどんな職業に適性があるのか、可能性を知りたい。どんな仕事が長続きして、やめずにできるのか分からないので、学校の実習を通して分かればいいなと思っています。

⇒ 中学部では、作業学習や校内実習(5日間)があります。高等部になると、月、木、金曜日に作業学習あり、木曜日には2～6時間目まで1日作業をする日もあります。6月と9月には校内実習や個別実習もあります(各10日間)。特に実習は将来の進路を想定して実施し、自分の適性や長所、課題を自覚できるようにしています。

本校では、これまでの実習データの積み重ねがあるため、高等部1年の校内実習時の作業量データから、将来の進路がある程度予想できます。長所と課題を自覚する機会にもなります。



「高等部校内実習(日々の作業量変化)」

📌ポイント! PTA主催の職場施設見学に参加して、高等部の校内実習を見学しましょう!

Q. 卒業生の中で、自動車免許を取得した人はいますか。

⇒ 本校に勤務するスクールサポートスタッフの神さんは、数年前の卒業生です。毎日、休まず愛車で通勤しています。他にもたくさんの卒業生が免許を取得しています。一方、取得に失敗した卒業生もいます。自動車学校は卒業できましたが、免許センターでの試験に合格できず、期限を過ぎてしまうケースもありました。小学部段階では、「近所を親子で散歩 ⇒ 慣れたら一人で外出させる」等、交通ルールを意識する経験(外出)を積み重ねていくことです。本校で免許を取得している卒業生は、自転車で外出したり友達と遊んだりして自然に交通ルールを身に付けていたように思います。



📌ポイント! 交通ルールの基本を覚え、まずは外出する経験、自転車に乗る練習も good!

Q. てんかん発作がいつ起こるのかわからない状態で、将来就職する事は可能なのか心配。

⇒ 高等部卒業後の発作の頻度がどれくらいにもよりますが、今後、一般企業のリモートワークがどんどん進化していくことでしょう(自宅でやる点では内職と同じイメージ)。今後、福祉制度も手厚くなっていくと予想できます。最近、福祉就労⇒一般就労(会社)に結びつけてくれる施設もあります。高等部段階で心配があれば、福祉サービスを利用し、そこからステップアップする方法もあります!

📌ポイント! 卒業時点での一般就労にこだわりすぎず、1歩ずつ健康面の安定や本人の自立度を上げていきましょう!

Q. パターン化するとだいぶ出来ると思いますが、応用はきかないので、手助けが必要な状態です。指先を使うこと(ボタンなど細かい作業)は苦手です。

⇒ ボタンが苦手ということは、着替えなどに挑戦させているということですね。いいですね! 苦手なボタンのサイズはどれくらいでしょうか? もしかすると、学生服のボタンくらいのサイズで穴も大きければ入れられるかもしれませんね。もっと大きなボタンで練習した子どもたちもたくさんいますよ。小学部ですから、いろいろな遊びや外出、日々の手伝いなどを通じて成長する段階です! できることもドンドン増えていきます! 仮に高等部段階で細かな作業が苦手でも、本人の得意を生かす(例えば体を使う)作業はたくさんあります。心配ご無用です。日々、自分一人のできることを少しずつ増やすように意識しましょう。

幼児期から続く習慣を意識的に減らすことも大切です。中学部、高等部になっても、親子で手をつないで歩いている姿、お菓子の包装紙を親がとってあげる姿、嫌いなものを親の皿に入れさせる姿…。「年齢相応は?」と考え、少しずつ減らしていくことも自立心を高めます。



📌ポイント! 一人てできること、続けてできることを増やし、今までどおり…を減らす!